



開庁式でのテープカット

# 新庁舎開庁式・落成式

東日本大震災で被災し、再建を行っていた役場庁舎が完成し、5月7日に開庁式を行い、新庁舎での業務を開始しました。

開庁式では、太田久雄町長が「多くの方のおかげで庁舎を再建することができ大変感謝しています。新庁舎を防災拠点の核として、これまで以上に安全安心なまちづくりに取り組んでいきます」とあいさつし、太田町長、八島博正議長、清野隆彦県北地方振興局長、

亀岡偉民衆議院議員、金子恵美衆議院議員、佐藤金正県議会議長、亀岡義尚県議会議長がテープカットを行いました。

5月9日には新庁舎の多目的ホールで落成式が行われました。落成式では、太田町長、八島議長のあいさつがあり、田谷聡福島復興局長が祝辞を述べました。また、新庁舎建設に尽力された工事関係者に太田町長より感謝状が贈られました。

## 感謝状を贈られた皆さま

株式会社ジエィアル東日本建築設計事務所 代表取締役 前田厚雄 様  
株式会社田畑建築設計事務所 代表取締役 田畑光三 様

株式会社安藤・間 東北支店 執行役員東北支店長 志賀正延 様

株式会社安藤組 代表取締役社長 安藤正文 様

有限会社佐久間工業 代表取締役 佐久間友一 様



落成式の様子

新庁舎落成に際し、記念品をいただきました。ありがとうございました。



①福梁製作所の岡村賢一社長より、傘袋を自動で装着する「傘ぼん」を寄贈いただきました。



②福島信用金庫の樋口郁雄理事長より、パンフレットスタンド8台を寄贈いただきました。



③東邦銀行の佐藤稔常務・本店営業部長より、アルミ製車いす10台を寄贈いただきました。

## 国見のモモで

### おいしいスイーツ作ります！

#### 国見町&桜の聖母短大 食育推進プロジェクト

町と域学連携協定を結んでいる桜の聖母短期大学が、国見特産のモモで子ども向けのスイーツを作ることにしました。

青年モモ農家を訪ね、国見のモモの特徴、モモづくりにかける農家の思いを聞いたりしました。学生たちは5つのグループに分かれてレシピを考案し、試作を重ね、7月末に町内の子どもたちの代表に試食をお願いすることになりました。町では試食会で好評なスイーツの道の駅での販売を目指します。



農業体験をする聖母短大のみなさん

## 商品開発目指して

畑から食卓まで考えられる栄養士を養成している本学としては、農を中心とした豊かな国見町と連携し、実際の活動の場がいただけることは本当にありがたいです。

農家との交流を通して、町と大学が連携しながら道の駅で販売する商品の開発ができれば地域貢献にもなります。学生と一緒にがんばります。



桜の聖母短大 池田洋子 教授

## 農家の思いを伝える

奥山邸に飾ってあった幕末時代の花嫁衣裳は、保存状態が良くとてもきれいでした。農家では、普段体験できないことを体験しました。農家の思いを聞き、それを伝えられるようなスイーツ作りを頑張りたいです。



酒井咲暮さん

奥山邸に縁起物の松竹梅、鶴亀、七福神があったり、防壁の角度が意外と急だったり、うまく摘果できなかったり、知らないことが多く、興味深かったです。道の駅の場所も知ることができ、良かったです。

## 初めて知る喜び



樋口なるみさん

みなさんとても優しく、分かりやすく教えてください、楽しくたくさん場所を回れました。また国見町に来たいと思ったので、その気持ちを多くの人に伝えられるようなスイーツを考案したいです。

## 思いを込めたスイーツを



竹田早織さん

